

2021年2月14日主日礼拝

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

招詞：ローマ人への手紙 8章

では、これらのことについて、どのように言えるでしょうか。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるのでしょうか。だれが、神に選ばれた者たちを訴えるのですか。神が義と認めてくださるのです。だれが、私たちが罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなして下さるのです。だれが、私たちがキリストの愛から引き離すのですか。苦難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。こう書かれています。「あなたのために、私たちは休みなく殺され、屠られる羊と見なされています。」しかし、これらすべてにおいても、私たちが愛して下さった方によって、私たちは圧倒的な勝利者です。私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いたちも、支配者たちも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、高いところにあるものも、深いところにあるものも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちが引き離すことはできません。

賛美：教会福音讃美歌 198「目を上げ、わたしは見る」

1. 目を上げ、わたしは見る、山々。助けはどこから来る、わたしに。
天と地を造られた み神のもとから来る。
2. 見よ、主は ゆくべき道示して、よろめく弱い足を 支える。
主はつねに まどろまず 眠らず 民を守る。
3. あなたを見守る方、み神は あなたをつねに 覆う右の手。
昼は太陽、夜は月 あなたを苦しめない。
4. み神は 災いみな遠ざけ あなたの魂をも 見守る。
旅立つ日、帰る日も、今より とこしえまで。

聖書交読：詩篇 124 篇

- 1 「もしも 主が私たちの味方でなかったなら。」
さあ イスラエルは言え。
- 2 「もしも 主が私たちの味方でなかったなら
人々が敵対してきたとき
- 3 そのとき 彼らは私たちを生きのまま
丸呑みにしていたであろう。
彼らの怒りが私たちに向かって燃え上がったとき
- 4 そのとき 大水は私たちを押し流し
濁流は私たちを越えて行ったであろう。
- 5 そのとき 荒れ狂う水は
私たちが越えて行ったであろう。」
- 6 ほむべきかな 主。
主は私たちを 彼らの齒の餌食にされなかった。
- 7 鳥のように 私たちのたましいは
仕掛けられた罠から助け出された。
罠は破られ 私たちは助け出された。
- 8 私たちの助けは
天地を造られた主の御名にある。

賛美：教会福音讃美歌 304「恵みのひびきの」

1. 恵みのひびきの 慕わしさよ 滅びるこの身を 見いだすとは
2. 恐れを追いやり 安き与え 救いに導く そのみ恵み
3. 恵みに守られ 支えられて きょうある恵みは み国までも
4. 世にある限りは 望み与え この身を見守る 主のみことば
5. 大地は溶け去り 日も隠れる その日もみ神は 私のもの
6. この身も弱まり 気落ちしても 平和と喜び 変わりはない
7. 御国に輝く その時にも 恵みの賛美は とわに同じ

頌栄：教会福音讃美歌 270「世をこぞりて」

世をこぞりて ほめたたえよ
み栄え つきせぬ
天つ 神を アーメン